

平成 10 年 4 月号より学会誌が変わります

本学会では、過去数年間に渡り「魅力のある学会誌の実現」に向けて学会誌の改革・改善を意図した数々の提案がなされ、すでに多くの成果をあげていますが、今後ともたゆまぬ改革・改善の努力を継続的に行うため、

- ・学会の主体性を損なうことなく、
- ・財政的な負荷を最小限に抑えつつ、
- ・今までの各種提言を効果的にかつ持続的に生かす体制を確立する。

そのために、(社)情報処理学会定款第 6 章(編集)第 25 条、第 26 条の定めにより、「編集長を置き、継続的な編集責任者をヘッドとする編集責任体制」を導入し、一貫した編集方針のもとに機関誌の恒久的向上を図る体制を確立することといたしました。編集長には、本会元副会長石田晴久氏をお迎えすることになりました。石田晴久氏のご経歴を以下に紹介します。



石田 晴久 (いしだはるひさ)

現職 (株)アスキー/常務取締役
多摩美術大学/(情報デザイン学科)教授
慶応義塾大学/(プロジェクト担当)教授ほか

<学歴>

1959 (昭和 34) 年 3 月	東京大学理学部物理学科卒業
1961 (昭和 36) 年 3 月	東京大学大学院数物系研究科物理学専門課程修士課程修了
1964 (昭和 39) 年 2 月	アイオワ州立大学工学部電気工科大学博士課程修了, PhD 学位受領

<職歴>

1964 (昭和 39) 年 3 月	MIT (マサチューセッツ工科大学) 研究員
1966 (昭和 41) 年 4 月	電気通信大学助教授
1970 (昭和 45) 年 12 月	東京大学大型計算機センター助教授
1982 (昭和 57) 年 5 月	教授 (兼任) 東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻情報科学科教授
1975 (昭和 50) 年 5 月～翌 2 月	ベル研究所客員研究員
1997 (平成 9) 年 3 月	東京大学定年退職
1997 (平成 9) 年 4 月	多摩美術大学教授 (情報デザイン学科)
1997 (平成 9) 年 4 月	(株)アスキー特別顧問, 次いで常務取締役
1997 (平成 9) 年 10 月	慶応義塾大学教授 (研究プロジェクト担当)

<主要著書>

「パソコン自由自在」(岩波書店, 1997 年)
「パソコンへの招待」(岩波書店, 1996 年)
「はやわかりインターネット」(共立出版, 1994 年)
「スーパーパソコンの時代」(岩波書店, 1994 年)
「UNIX 最前線」(共立出版, 1993 年)
「コンピュータ・ネットワーク」(岩波新書, 1991 年)
「パソコン入門」(岩波新書, 1988 年)

<主な社会活動>

(1995～97) 青少年問題審議会委員 [総務庁]
(1993～) 日本インターネット協会会長
(1996～) 郵政省地域マルチメディア・ハイウェイ実験協議会会長
(1996～) 通産省コンピュータ緊急対策センター (JPCERT) センター長

<主な学会活動>

(1992～) Internet Society 副会長
(1990～92) 情報処理学会元副会長
ICCC (International Council on Computer Communications) 理事
日本工学アカデミー会員
ACM 会員, IEEE Computer Society 会員
ソフトウェア科学会会員
OA 学会会員
セキュリティマネジメント学会会員